



TELELOGIC TAU GENERATION2

Development visualized. Productivity realized.

Telelogic

業界は今、 岐路に立たされている

ソフトウェアは、今日、われわれの周囲の至るところに浸透しています。車は動くために、飛行機は飛ぶために、電話は繋ぐために、患者は治療するために、みなソフトウェアを必要としています。

したがって、ソフトウェアは、電気通信、自動車、航空宇宙、防衛など、ますます多くの業界で競争上の決め手となっています。多くの市場でのグローバル化と規制緩和により、この競争はさらに激化しています。

ソフトウェアが現代社会のインフラとなるにつれ、肝心なときにソフトウェアが動かないということは許されなくなってきました。

より多くのソフトウェアは、より迅速に、より高い品質を維持することが課題になっています。

一方、ソフトウェア開発者は、必要最小限のスタッフとマニュアルコーディングとで到底不可能な仕事の達成が要求されます。その結果、開発サイクルは非常に長引き、完全に柔軟性を失っています。開発者はプロジェクトのアーキテクチャや設計に専念するというよりむしろ、お粗末なコーディングの修正に追われます。その結果が、製品の品質低下や納期の遅延となって現れます。

Standish Group International, Inc.が実施した調査によれば、2000年に実施されたソフトウェア開発プロジェクトのうち、23%が失敗し、49%に「なんらかの問題」があったと報告しています。すなわち、納期が延びたり、予算を超過したり、機能が不十分であったりしたのです。このような状況では、企業は競争上の強みを失うだけでなく、マーケットのシェアも失ってしまいます。業界にとって今必要なものは、プログラマーによるコーディングを中心とした開発手法にとって代わる手法です。このような従来の開発手法では、コスト、品質、商品化に要する期間という点で、今日の市場が要求するレベルに達することはできません。

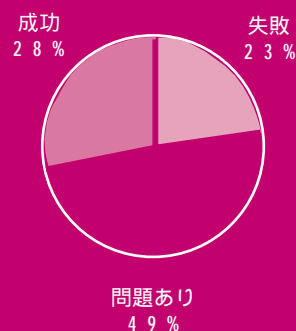


図1 2000年に実施されたソフトウェア開発プロジェクトの結果 (Standish Group International, Inc.による)

Telelogic TAU Generation2は、さらなるステップアップを可能にする

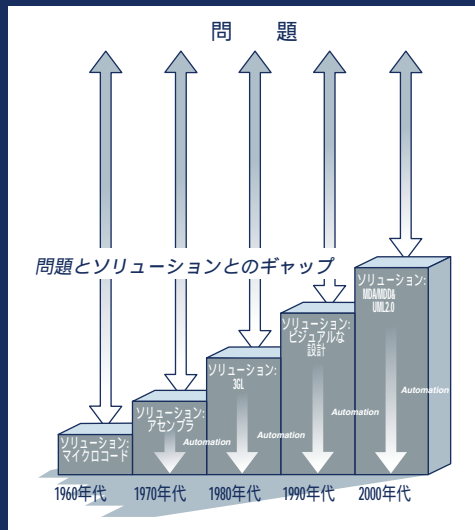


図2 システムおよびソフトウェアの開発は、たとえば、「国内全体をカバーする携帯電話システムを構築したい。」といった問題の提起から、システムの調査、要件の記述、ニーズの分析、システム的设计を行い、最終的にソリューションの構築とテストを行うことです。問題とソリューションとのギャップを埋めることは、リソースと時間と経費を必要とする知的なプロセスです。過去40年間を振り返ってみると、業界は、ノウハウをツールと言語の中で自動化することによって、このギャップを少しずつ埋めてきました。UML 2.0およびMDA/MDDは、開発を自動化し、技術者がよりハイレベルの作業に取り組めるようにしようという現在のトレンドから生まれた最新の手法です。

Model-Driven Architecture™とMDA™およびUML™は、米国その他におけるObject Management Group, Inc.の商標です。

幸いにも、業界は数年前からこの状況に業を煮やし、業界をあげていくつかの解決に取り組んできました。その目標は、現在のソフトウェア開発の課題を企業が克服するのを支援できるような、信頼性の高い新しい技術標準を確立することです。

そしてついに、業界待望の技術が、柔軟な統合型ツールポートフォリオという形ではじめて市場に登場し、リアルタイムシステムやアドバンスド・システムおよびソフトウェア開発をサポートします。それがTelelogic TAU Generation2です。

TAU Generation2は、大規模ソフトウェア開発とテストを加速する最新かつ最強の3つの技術を具現化しています。すなわち、UML™ (Unified Modeling Language™)とUML™の主要な改定版であるUML 2.0の多くの機能、強力なテスト言語であるTTCN-3、そして開発ツールを構築する新しい手法 - Model-Driven Architecture™とModel-Driven Development (MDA™/MDD) - です。これら3つの新しい業界標準は、実証済みであるTAUのソフトウェア開発プラットフォームに組み込まれ、最先端でありながら、堅牢で信頼性の高いツールソリューションとなっています。

TAU Generation2は、従来の開発に突破口を開く革新的なソフトウェア開発ソリューションであり、かつ革新的なシステム開発ソリューションでもあります。プログラマーによるコーディングはエラーが発生しやすいにもかかわらず、あまりに長期にわたって業界の支配的なアプローチとなっていました。このソリューションは、そのようなアプローチから業界を解放し、よりビジュアルで自動化された信頼性の高い開発手法への一步を踏み出すことを可能とするものです。

その結果、プロジェクトの予測可能性と品質が改善され、開発期間が短縮され、コストが大幅に削減されます。

Telelogic TAU Generation2 - アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発を加速させる

TAU Generation2 は、アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発を簡素化し、自動化し、加速する統合型のツールファミリーです。TAUの特徴は、複雑なリアルタイムシステムやアドバンスト・システムを開発するという最も困難な課題をかかえる企業の支援に専念している点です。

TAUは、統合型ツールプラットフォームを提供することで、プロジェクトマネージャ、システム分析者、システム技術者、設計者、開発者、テスト技術者を支援します。このツールプラットフォームでは、以下に示す多くのユニークな機能があります。

単一の開発環境の共有

現代の開発プロジェクトの成功には、システムアナリスト、ソフトウェア設計者、プログラマー、テスト技術者など、多くのチームが関わっています。TAU Generation2を使用することで、単一のツール環境を開発組織全体で共有することができるため、さまざまなチームが一体化され、作業の遅れや引継ぎで発生する恐れのある問題を最小限に抑えられます。

さまざまなユーザーニーズに合わせてツールを調整

TAU Generation2は、役割ごとのツールを多数提供しています。したがって、これらのツールは、さまざまなプロジェクトメンバーのニーズに合わせて調整できます。このようなツールによって、プロジェクト参加者は、必要な時に必要な情報にアクセスできるため、開発環境が簡素化され、日常作業が効率化されます。企業は、ツールや機能を自由に選択でき、無駄な費用を費やす必要がありません。

高度なUMLシステムモデリング

TAU Generation2の高度なビジュアルモデリング環境では、技術者は、業界標準のビジュアルな開発言語である最新のUML 2.0を使用して、システムアーキテクチャ、設計、およびシステムの動作を明確に記述することができます。この新しい強力な言語は、従来のプログラミング言語のもつ柔

軟性をモデリング表記によるスピードアップと一体化しています。UML 2.0によって、システム技術者とソフトウェア開発者に共通の言語が確立されることになるため、円滑なコミュニケーションとコーディネートが可能です。

モデルベースのビジュアルな検証とシミュレーション

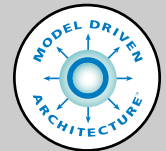
TAU Generation2は、モデル駆動型開発(MDA/MDD)をサポートするため、ユーザは、実装の詳細ではなくアーキテクチャや設計に専念することができます。さらにTAU Generation2を使用すると、開発中のシステムを開発の早い段階からシミュレートすることができます。これによって、システム動作のトレースと分析が可能となり、システムの複雑な振る舞いを理解し変更するだけでなく、修正が容易な時期に不具合を発見することができます。

最先端のユーザインタフェース

TAU Generation2ポートフォリオに含まれるすべてのツールは、最新のMicrosoft Visual Studio的ユーザインタフェースを採用しています。したがって、学習しやすく、効率的です。また、その場で構文上や意味上の言語チェックを行う機能が組み込まれているため、品質が改善され、エラーが減少し、実務を通して学習するというアプローチも可能となります。

自動アプリケーション生成

リアルタイムのアドバンストソフトウェアシステムを構築するために、TAU Generation2はビジュアルモデルから、製品レベルの品質を持つコンパクトなアプリケーションを自動的に生成できます。具体的には完全なCアプリケーションの生成と拡張性のあるC++アプリケーションの生成です。これによって、技術者は、エラーを起こしやすい単調で退屈なコーディングから解放され、自分の能力を最も発揮できる領域、すなわちハイレベルの問題解決や重要な新機能の追加に専念することができます。



MDA/MDDとは
MDA™/MDD (Model-Driven Architecture™/Model-Driven Development)は、常に新しい標準や技術が登場してくる変化の激しい環境の中で、ソフトウェア開発に取り組んでいる企業を支援します。MDAは、OMG (Object Management Group)の提唱する概念であり、仕様から導かれるロジックとそのロジックの実装方法とを分離する形で、組織が所有する情報システムが新しいハードウェアプラットフォームおよびソフトウェアプラットフォームに適用できるようにすることを目的としています。MDDとは、MDAを利用した開発手法であり、実証済みかつテスト済みのモデルをベースとしながら、新しい技術を取り入れているシステムの迅速な構築を可能にするものです。MDA/MDDによって、アプリケーションの移植可能性、相互運用性、プラットフォームへの非依存性、開発者の生産性が向上されます。

強力なスケーラビリティとチームサポート

今日の開発プロジェクトは、分散型で、ツールソリューションの必要性が高まります。**TAU Generation2**は、チームベースの開発を強力にサポートします。具体的には、コンポーネントベースの開発方法や柔軟なファイル構造を採用し、先進的な構成管理システムをシームレスに統合しています。さらに、これらのツールでは、ユニークな方法により高レベルのビューと詳細なビューに同時にアクセスできるため、多くのレベルにまたがったナビゲーションと分析が簡単に行えます。

柔軟でオープンなツールソリューション

Telelogic TAUは、**UML**、**SDL**、**TTCN**、**XML**といった標準言語をベースにしたオープンな開発プラットフォームです。また、**TAU**は特定のプロセスに依存せず、既存のどの開発プロセスとも円滑に統合します。柔軟で完全な開発環境を構築するため、**TAU**は、**Telelogic**のソリューションも含め、他社製の先進的なツールとも強固に統合できます。市販のほとんどの要件管理システムに加え、先進的な変更管理および構成管理ソリューションとも統合できます。

Telelogic TAU Generation2 - 次世代のメリットを今、提供する

TAU Generation2を導入することによって、開発ライフサイクル全体を支援し加速する、マルチユーザ対応の統合型ビジュアルツールソリューションを初めて提供することができます。このソリューションには、次のようなメリットがあります。

リスクを最小限に抑制

開発プロジェクトの運営は、リスク管理を行うことに他なりません。具体的には、適切なタイミングで製品を市場に投入できないリスク、出荷した製品の機能が十分でないリスク、市場の変化や技術の変化に十分対応し切れないリスクなどがあります。TAUは、予測可能で迅速かつ反復可能な開発プロセスを構築する、信頼性の高い実証済みのツールです。さらに、オープンなツール環境として、先進的なあらゆる要件管理ソリューションと変更管理ソリューションを統合することができます。

生産性の向上

生産性とは、製品に費やした労力が実際に製品の機能や品質の改善・拡張につながるようにすることです。TAUを導入することで、技術者は、よりハイレベルの作業に従事でき、大きな問題が細分化されて見失われてしまう前に解決することに専念できます。手作業による作業をツールによって徹底的に自動化することによって、多くの詳細事項を気にする必要がなくなり、その結果として開発期間が大幅に短縮されます。

品質の向上

プロセスの初期段階で紛れ込んだエラーが次のフェーズ、そして最終製品にまで持ち越されてしまったら、損害は計り知れません。これに対処するため、一般的には、プログラマーが書いたコードのレビューが行われています。しかし、このようなレビューは、コストと時間がかかるうえ、完璧とはいえません。TAUを使用すれば、モデルをビジュアルにシミュレートできるため、開発の初期段階で品質の問題や設計の不具合を発見することができます。また技術者は、自分が担当するシステムのパートを作成し

ながらテストを行うことができます。すなわち、品質に重点を置くことができます。

予測可能な開発プロセス

開発プロセスの高速化にもまして重要なことは、プロセスが予測可能になるということです。プロジェクトマネージャは、プロジェクトの進捗を知る必要があります。TAUを導入することで、単一の統合型ツールプラットフォームを展開し、アドバンスト・システムの開発を合理化することができます。システムを簡単に分割できること、設計とアーキテクチャを重視すること、エラーが発生しやすい手作業を自動化すること、プロジェクトのフェーズ間でデータを速やかに引き継ぐこと、これらはすべて開発プロセスの予測可能性を向上させます。

円滑なコミュニケーション

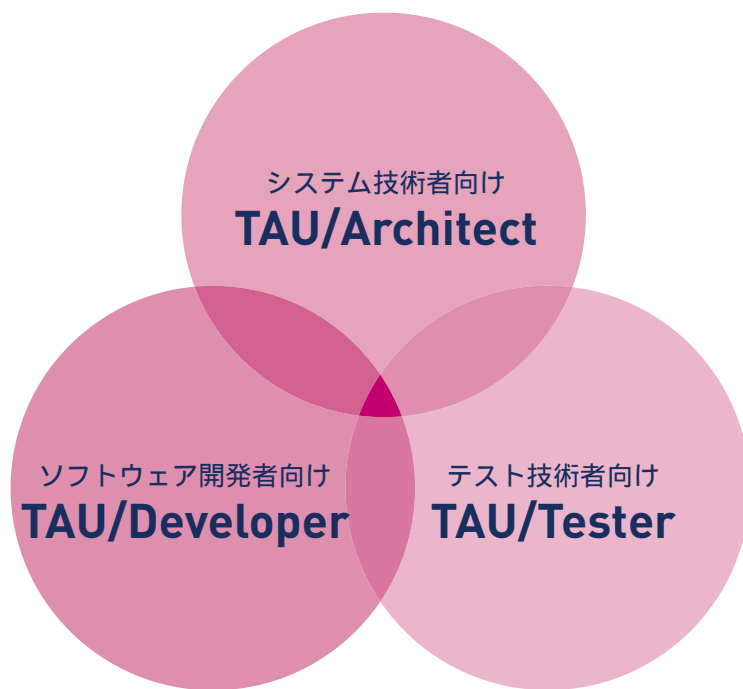
プロジェクトメンバー間、プロジェクトメンバーとプロジェクトマネージャ、プロジェクトメンバーと顧客との間のコミュニケーションがより円滑になれば、プロジェクトのリスクが大幅に軽減されます。TAUはビジュアル言語を使用しているため、コミュニケーションが円滑であり、文書の必要性が大幅に減ります。実際にTAUが採用しているビジュアル言語は非常に強力であるため、TAUは3G、802.11、GSM等の国際標準を記述するのに長年にわたって使用されてきました。さらに、TAUのシミュレーション機能によって、プロジェクトメンバーが開発中のシステムの動作をデモンストレーションできるため、早い時期からプロジェクト関係者の意見を聞くことができます。

コストの削減

プロジェクトでコストを削減する方法はたくさんあります。その1つが生産性の向上です。生産性の向上によって人材を最も効果的に活用できるため、コストの削減につながります。これと同様に重要なのが保守費用の削減です。保守費用は、ソフトウェアアプリケーションのライフサイクル全体を通じた総コストに対し、かなりの部分を



UML 2.0とは
UML (Unified Modeling Language) とは、ソフトウェアシステムの仕様を表記し、体系化し、文書化するためのビジュアルな言語です。UML 2.0は、2003年初頭に公開されると期待されている次世代のUMLです。前世代のUML 1.xは、本来、小規模なソフトウェアの分析とモデル化を行うための言語でした。UML 2.0は、スケーラビリティを向上させ、コンポーネントベースの開発、アーキテクチャのモデル化、動作の記述を可能にすることで、ソフトウェア開発業界が実際に直面する課題をよりよく克服できるようにしました。UMLは、OMG (Object Management Group) によって標準化されています。本書で言及する「UML 2.0」とは、U2 Partners コンソーシアムがOMGに提出した最新のUMLプロポーザルを指します。Telelogic TAUはこのUMLに準拠しています。



TTCNとは
TTCN (Testing and Test Control Notation) は、世界的なテスト用の標準言語であり、ETSI (European Telecommunications Standards Institute) によって管理されています。最近承認された第3世代のTTCNであるTTCN-3は、さまざまなインタフェースを介してさまざまな種類のシステムテストを記述するための柔軟な最新の言語です。この言語は主に、システムテスト、相互運用性テスト、プロトコルテスト、サービステスト、モジュールテストなどに使われます。TTCNのプラットフォームとの非依存性とそれに固有の強力なテスト機能により、GSM、3G、Bluetoothなど、多くの通信システムの公式なテスト仕様を定義するための言語として広く利用されています。

占めています。リリース後に見つかるエラーが少なければ少ないほど、保守費用を削減することができます。保守作業には、変化する環境にシステムを適合させる作業も含まれます。**TAU**を使用した設計はビジュアルで分かりやすいため、このような修正でもコストを削減することができます。

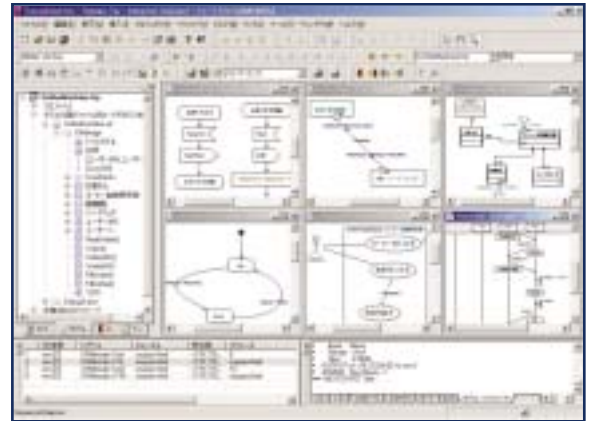
投資の有効活用

新しい開発環境を導入し、人員を配置し、それを運営することは通常は困難を伴う作

業です。**TAU**なら、オープンなアーキテクチャを基に構築されているため、品質プロセス、要件管理システム、変更管理ソリューションなど、開発環境の他の部分に円滑に統合することができます。さらに、**TAU**は国際標準言語に準拠しているため、このツールをすぐに使いこなせるスキルをもった技術者を常に確保することができ、業界の進歩に合わせて**TAU**も常に進歩し続けることができます。

Telelogic TAU Generation2 - 開発環境へのニーズを完全にカバーするツールポートフォリオ

アドバンスド・システムおよびソフトウェア開発にはさまざまな専門分野で多数の人々が関わり、1つのツールで全員のニーズを完全に満たすことは困難です。そこで、**TAU Generation2**は、役割ベースのツールとなっており、さまざまなユーザグループを想定した多様な機能を用意しています。これらのツールは、同じプラットフォーム上に構築され、同じユーザインタフェースを使用しています。これによって学習カーブが最短となり、システム開発を加速できます。



TAU/Architect

Telelogic TAU/Architectは、アドバンスド・システムを分析し、その仕様を記述するための新しいモデルベースのシステムエンジニアリングツールです。**TAU/Architect**は、オープンに標準化されたビジュアル表記法であるUMLを使用して、大規模で複雑なシステムを包括的にモデリングできるため、あいまいさを排除してわかりやすく正確に記述することができます。**TAU/Architect**では、開発中のシステムの構造だけでなく、動作も記述できるというユニークな特徴があります。さらに、開発の初期段階で仕様をシミュレートしてシステムの検証と確認を行い、エンドユーザと他のプロジェクト関係者にその動作をデモンストレーションすることも可能です。

仕様の記述と開発に共通のUML表記法をソフトウェアプロジェクトに適用することは、チーム間でのコミュニケーションの改善と組織としての効率化につながります。

Telelogic DOORSとの統合によって、システム仕様から要件を簡単に追跡することができます。また、**Telelogic DocExpress**との統合によって、開発中のシステムに関するドキュメントを完全な形で最新の状態に保つことができます。また、**Telelogic SYNERGY**をはじめとする先進的な変更管理および構成管理ソリューションとの統合によって、分散型の大規模開発が可能となります。

TAU ツールファミリー

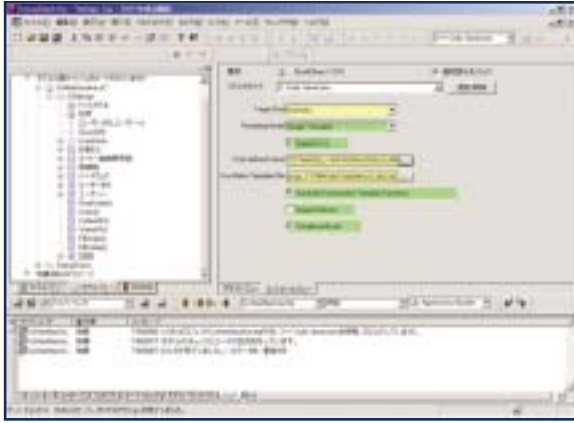
TAU Generation2のツール群に加え、TAUには次のような製品も用意しています。

TAU UML Suite - 高度なソフトウェア アプリケーションの分析、モデル化、オブジェクト指向の設計を行うためのUML 1.4ベースのツール

TAU SDL Suite - SDLおよびMSCをベースにした通信系ソフトウェア開発ツール

TAU TTCN Suite - 通信システムのコンFORMANCEテストのためのツール環境

TAU Logiscope - ソフトウェアの品質を計測し、保証するためのツール

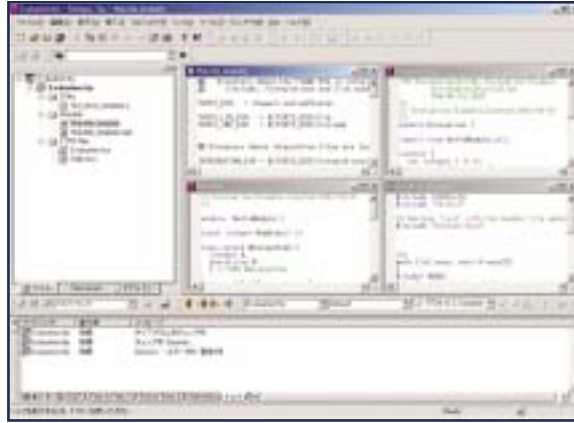


TAU/Developer

Telelogic TAU/Developerは、堅牢でリアルタイムのアドバンスソフトウェアアプリケーションを構築するためのUMLベースの最先端のツールです。TAU/Developerのモデル駆動のアプローチは、従来のプログラミングに比べ大幅に生産性を向上させます。複数のチームによって大規模で複雑なリアルタイムソフトウェアシステムを迅速に構築できるからです。エラーが発生しやすいハンドコーディングを自動化することによって品質を改善し、開発期間と必要なリソースを抑え、効率を高めます。ユーザは、ソフトウェアのアーキテクチャ、分析、設計に専念することができます。

本ツール独自のユニークな技術によって、リアルタイムの動作をビジュアルにシミュレーションし、確認することができます。これはエラーの早期発見につながります。また、アプリケーションソフトウェアを100%自動生成できるため、ラウンドトリップエンジニアリングが不要になり、最高品質のコードが生成できます。

TAU/Developerは、Telelogic DOORSとの統合によってアプリケーションを確実に要件に準拠させることができます。また、DocExpressとの統合によりドキュメントを常に最新の状態に保つことができます。さらに、Telelogic SYNERGYをはじめとする先進的な変更管理および構成管理ツールとも完全に統合されています。



TAU/Tester

Telelogic TAU/Testerは、汎用目的のテスト言語であるTTCN-3をベースにして、システムテストを自動化し、テストを統合する強力なツールです。TAU/Testerは、テストサイクル全体をサポートし、最高レベルのテスト機能を提供することで、最新の開発ツールに適したテストの自動化と高速化を実現します。TTCN-3は開発言語やテスト装置に依存しない抽象性と移植性の高い言語であるため、テスト開発に専念することができます。

TAU/Testerを導入することによって、テスト環境を大幅に簡素化することができます。TAU/Testerはあらゆるテスト要件に対応できるため、多くのツールやコストのかかる社内ソリューションを使用する必要がなくなります。TAU/Testerは、完全な自動化によって反復不可能で場当たり的な手作業によるプロセスを排除し、生産性を向上させます。既成のテストスイートを利用できるため、より速やかにビジネス上主要な機能に専念することができます。なお、同製品は、1394 Trade Associationによる「FireWire」アプリケーションのテストを開発するための基準ツールに選定されています。

TAU/Testerは、Telelogic SYNERGY等の先進的な変更管理および構成管理ソリューションと統合されているため、チームベースのテスト開発を可能にします。

Telelogic - アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発のための完全なライフサイクルソリューション

アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発はますます困難になっています。開発サイクルは短くなり、市場の期待は大きくなります。競争は激化し、ますます高度で洗練された製品を以前にまして速いスピードで出荷しなければならないというプレッシャーにさらされています。間違いなど許されません。また同時に、プロジェクトは大規模化し、複雑化しています。

業界は現在、岐路に立たされています。成功は、正しい道を選択できるかにかかっています。

Telelogicは、アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発を支援するツールとサービスを提供しています。さまざまな業界で実績があり、お客様の目標達成をお手伝いしています。自動化されたオープンなライフサイクルソリューションには、要件管理、変更管理、構成管理、ビジュアルなソフトウェア開発、テスト、文書化に対応する最高級のソフトウェアとプロフェッショナルサービスを提供しています。

Telelogicの特徴

Telelogicの製品は、オープンなアーキテクチャで構築されているため、サードパーティ製の先進的なソリューションとの相互運用を保証し、内製ツールやプロセスとも円滑に統合し、既存の開発環境への投資を無駄にすることがありません。また、これらのツールとともに、包括的なプロフェッショナルサービスも提供しています。Telelogicは、通信、防衛、航空宇宙、自動車、金融サービス、医療機器など、最も複雑な要求がある各業界でお客様が業界をリードできるようにサポートしていくことに重点をおいています。

要件管理

- Telelogic DOORS

Telelogic DOORS®は、要件管理の分野で最も先進的な製品です。DOORSの導入で、プロジェクトのあらゆる要件を追跡し、管理することができるため、あらかじめ定義された顧客ニーズを完全に満たすことが可能となります。

変更管理および構成管理

- Telelogic SYNERGY

Telelogic SYNERGY™は、Yphiseによる2000年度の報告書において、市場で最も高度な変更管理および構成管理システムと評価された製品です。同製品は、ソフトウェアのライフサイクルを通じて、変更を記録し、構成の一貫性を保証するプロジェクトツールであり、分散して並行開発を行う開発チームの生産性と品質を向上できます。

ビジュアルなソフトウェア開発

- Telelogic TAU

Telelogic TAU®は、UMLベースのビジュアルな開発ツールプラットフォームです。TAUは、短期的にも長期的にも見返りが期待できる投資です。シミュレーションの自動化と完全なアプリケーション生成により、大幅なコスト削減と商品化に要する期間の短縮が図れます。

テスト - Telelogic TAU

Telelogic TAU®は、標準化された最新のテスト言語TTCN-3をサポートするテストソリューションでもあります。これによって、大規模で分散化された組織におけるシステムおよびソフトウェアの効率的なテストが容易になり、生産性の向上と信頼性を強化します。

文書化 - Telelogic DocExpress

Telelogic DocExpress <Ingen> は、文書を自動生成し、業界で最も多くの製品に統合されています。同製品は、複数のツールからのデータを1つのコンパクトなビューにし、プロジェクトの文書を最新の状態に保ちます。また、レポートのスタイルや書式を標準化できます。

強力なパートナーシップ

急速に変化する業界では、1社で個々のあらゆる問題を解決することはできません。プロジェクトのライフサイクルを通じて、特定のニーズに対応するためのさまざまなソフトウェアツールとサービスが求められます。TelelogicのAlliance Partner Program (TAPP) は顧客支援プログラムであると同時に、当社のソリューションを、今日の各業界のリーディングベンダが提供する最高級の製品とサービスで補足し強化するためのものです。50社を超える先進的なパートナーとともに、Telelogicは、開発課題を克服するための柔軟なソリューションをお客様に提供し、グローバルに支援いたします。



Telelogic - 先行開発のベストパートナー

自動化されたオープンな統合型ソフトウェアツールポートフォリオを提供することで、Telelogicは個人の生産性ひいては組織の生産性を高め、アドバンスド・システムおよびソフトウェア開発の成功をサポートいたします。

- ・より高速に
- ・コスト効率よく
- ・よりすぐれた品質で
- ・予測可能な信頼性の高いプロセスを活用

About Telelogic

Telelogic®は、アドバンスト・システムおよびソフトウェア開発向けソリューションのリーディングサプライヤです。

Telelogicの自動化されたライフサイクル・ソリューションは、要件管理、変更管理、構成管理、開発、テスト、文書化をサポートし、最先端のソフトウェアとプロフェッショナル・サービスをご提供することにより、製品出荷時間の短縮、より高い品質の維持、大幅な予測可能性の向上、経費の削減をご提供いたします。

Telelogic DOORS®とTelelogic CM SYNERGY™そしてTelelogic TAU®は要求管理や変更管理、ビジュアルエンジニアリングといったアドバンスト・システムおよびソフトウェア開発のあらゆる工程をカバーします。さらに、Telelogicの製品は他のソリューションとオープンに統合することができます。

Telelogicは、高い技術力を誇るスタッフにより、広範なサービスを展開しています。Telelogicプロフェッショナル・サービスが開発プロセスのあらゆるレベルで専門知識をご提供いたします。そのサービスは、トレーニング、実装サービス、プロジェクト管理、プロトタイピング及び開発管理です。

Telelogicは国際標準をサポートしています。Telelogicの製品は標準化された言語と表記法に準拠しています。また、Telelogicは多数の標準化団体（3GPP、Bluetooth SIG、OMGなど）に積極的に参加しています。未来の通信技術やビジュアルソフトウェア開発言語にTelelogicの技術が生かされています。

Telelogicは本社をスウェーデンに置き株式公開している成長企業です。Alcatel、BAE SYSTEMS、BMW、Boeing、DaimlerChrysler、Deutsche Bank、Ericsson、General Motors、Lockheed Martin、Motorola、NEC、Nokia、Philips、Siemens、ThalesなどでTelelogicの技術が採用されています。

本社
P.O. Box 4128, SE-203 12 Malmö, Sweden
Phone: +46 40 650 00 00 · Fax: +46 40 650 65 55
www.telelogic.com

日本テレロジック株式会社
〒105-0014
東京都港区芝1-5-9
住友不動産芝ビル2号館6F
Tel: (03) 5427-8900 · Fax: (03) 5427-8901
info@telelogic.co.jp · www.telelogic.com/jp

Offices in Europe, America, Asia and Australia.
Distributors worldwide.

